

輸送動向について（3月分）

平成25年4月

1. 輸送概況

今月は、上旬の北日本地区における大雪や強風による輸送障害等により、月全体で高速貨126本が運休となった。

荷動きについては、東日本大震災からの復旧に伴う一部メーカーの生産増があるものの、国内需要の減少や、円高下で進められた生産の海外シフトを受けて輸出を中心に生産の減少があり、月全体では前年を下回った。

コンテナ貨物は、紙・パルプ、エコ関連物資等が前年を上回ったものの、自動車部品、食料工業品等が前年を下回り、全体では前年比99.1%となった。紙・パルプは震災により被災した生産拠点の復旧、また、エコ関連物資は災害廃棄物の広域処理の進展によりそれぞれ増送となった。一方、自動車部品は国内需要の減少、食料工業品は一部顧客の生産拠点の変更等によりそれぞれ減送となった。

車扱貨物は、一部区間での輸送終了に伴い減送となった石油をはじめ、セメント・石灰石等も前年を下回り、全体では前年比82.6%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,913	1,930	99.1%	20,519	19,618	104.6%
車扱	830	1,006	82.6%	9,472	10,221	92.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	166	161	5	103.1%
	化学工業品	178	178	0	100.0%
	化学薬品	126	131	-5	96.2%
	食料工業品	263	274	-11	96.0%
	紙・パルプ	268	258	10	103.9%
	他工業品	142	156	-14	91.0%
	積合せ貨物	201	198	3	101.5%
	自動車部品	77	90	-13	85.6%
	家電・情報機器	42	44	-2	95.5%
	エコ関連物資	43	33	10	130.3%
	その他	407	407	0	100.0%
	コンテナ計	1,913	1,930	-17	99.1%
車扱	石油	560	704	-144	79.5%
	セメント・石灰石	107	123	-16	86.9%
	車両	79	96	-17	82.0%
	その他	84	82	2	103.1%
	車扱計	830	1,006	-176	82.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)